



## 宮城で震度5強

### 3人軽傷、交通に乱れ

4日午後0時28分頃、宮城沖を震源とする強い地震があり、宮城県石巻市で

震度5強を観測した。気象庁によると、震源の深さは58キ、マグニチュードは6.0と推定される。東日本大震災の余震とみられ、震度4以上を観測したのは、本震を含め、今回で3000回目となった。

宮城県によると、この地震で県内の男性3人が軽傷を負った。仙台市泉区の30歳代の男性は、自宅にいたところ、頭上に照明器具が落下。同市宮城野区では50

歳代の男性客が骨董市の会場で、展示品の皿で手を切った。気仙沼市の70歳代の男性は、驚いて転倒した。交通機関は、東北新幹線が新白河―盛岡間で12分間運転を見合わせ、上下線で最大85分の遅れが出た。高速道路は東北自動車道などの一部で約1時間通行止め。仙台空港も滑走路の点検で、3便の発着が遅れた。気象庁の長谷川洋平・地震津波監視課長は記者会見

で、「余震活動は落ち着いてきているが、今後とも何年かにわたって震度6や5強の余震が起きる可能性はある」と注意を呼びかけた。各地の主な震度は次の通り。

▽震度5弱 宮城県女川町、大崎市、涌谷町

▽震度4 仙台市、宮城県気仙沼市、東松島市、岩手県大船渡市、釜石市、一関市、福島県南相馬市、相馬市など